

個人情報取扱事務の諮問事案書 (重要事項の諮問)

オンライン結合を行う事務の名	マイナンバーカード交付管理・予約システム事務	
事務の管課	市民部 戸籍住民課	
オンライン結合による取扱個人情報	類型	マイナンバーカード交付管理・予約システム事務対象者
	項目名	氏名、生年月日、住所、性別、電話番号、電子メールアドレス、顔写真等
オンライン結合の概要	結合の当事者名	市民部 戸籍住民課、LGWAN-ASP業者
	使用回線の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専用回線 (LGWAN回線：行政機関専用ネットワーク)</li> <li>■ 共用回線(インターネット【暗号化通信使用】)</li> </ul>
	個人情報の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LGWAN-ASP業者が提供するシステムを利用して当該事務を行う。</li> <li>・ 地方公共団体情報システム機構よりマイナンバーカードと共に送付されてくる、マイナンバーカード管理簿に付随しているQRコードをスキャンすることで、交付対象者の氏名、生年月日等を取得し、業者のデータセンター(外部サーバ)側へ転送。</li> <li>・ 当管理簿に含まれていない住所情報については、マイナンバーカード自体をスキャンすることで取得し、データセンター側へ転送。</li> <li>・ それ以外の情報として、証明書コンビニ交付サービスで利用している証明書交付に必要な情報より、その時点で住民であることの確認や、所有情報の更新が無いかを連携・確認。</li> <li>・ 交付時の「(仮称)確認書」に交付した旨の確認サインを貰い受けて終了となるが、15年間のデータ保管が義務付けられているため、「(仮称)確認書」等対象文書をスキャンし、そのデータについても保管する。</li> </ul>
オンライン結合を行う理由(公益上の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、マイナンバーカード交付の管理をOffice系ソフト(Excel等)で管理・運用しているが、データ量の増大等から業務処理に時間がかかる等の課題が生じている。</li> <li>・ また、対象者への通知を行うに当たり、一連のシステム動作により運用できていないことから、交付通知書等を発送する際の誤り等も懸念されている。</li> <li>・ 今回、システム化することで、このような課題が解決され、一定のセキュリティを確保しつつ、同時に複数の利用者が交付予約システムを利用することで、業務の集中と集約が可能となると考えている。</li> </ul>	
安全確保措置(個人の権利利益を侵害するおそれがないようにすること)	本市と外部サーバとのデータ通信は、LGWAN回線網を使用。住民データは、暗号化される。予約のインターネット網を使用し、通信は暗号化される。	
開始時期	令和3年6月を予定	

## オンライン結合関係図

オンライン結合を要する事務の名称

マイナンバーカード交付予約システム事務

インターネット網



※マイナンバーカード交付希望者がスマートフォンやパソコンを使い、予約を設定  
【インターネット利用・暗号化】

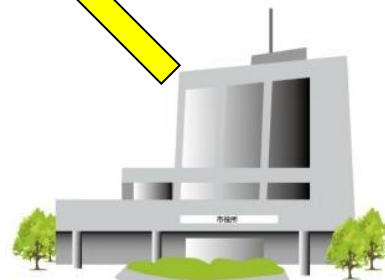


LGWAN ネットワーク網



外部サーバ  
【LGWAN-ASP業者データセンター】

マイナンバーカード交付管理用データ  
【LGWAN 利用・暗号化】



市役所庁舎

(注意)

□ は、結合する電子計算機とする。なお、当事者名、電子計算機名称等の参考情報を付記する。

⇒ は、結合による個人情報の流れとする。なお、回線の形態等の参考情報を付記する。